

令和9年度指定野菜の需要及び供給の見通しの公表について

野菜生産出荷安定法（昭和41年法律第103号）第3条第1項及び野菜生産出荷安定法施行令（昭和41年政令第224号）第2条の規定に基づき、令和9年度指定野菜の需要及び供給の見通しを次のとおり立てたので、公表する。

令和5年3月31日

農林水産大臣 野村 哲郎

令和9年度指定野菜の需要及び供給の見通し

(単位：千トン)

指定野菜の種類	項目 時 期 区 分	需要量 (純食料ベース)	供給量	
				国内産供給量
キャベツ	4月から6月まで	249～ 253	352～ 359	343～ 350
	7月から10月まで	347～ 353	492～ 501	482～ 491
	11月から翌年3月まで	408～ 417	578～ 591	573～ 586
きゅうり	7月から11月まで	218～ 226	239～ 247	230～ 238
	12月から翌年6月まで	257～ 264	282～ 290	267～ 275
さといも	6月から翌年3月まで	112～ 129	141～ 163	102～ 123
だいこん	4月から6月まで	154～ 169	182～ 199	176～ 194
	7月から9月まで	187～ 198	221～ 234	216～ 229
	10月から翌年3月まで	622～ 682	735～ 806	724～ 796
たまねぎ	4月から10月まで	505～ 536	590～ 627	367～ 404
	11月から翌年3月まで	809～ 837	946～ 978	796～ 829
トマト	7月から11月まで(大玉)	178～ 190	214～ 228	210～ 225
	〃 (ミニ)	51～ 57	61～ 68	60～ 67
	12月から翌年6月まで(大玉)	235～ 244	282～ 292	279～ 289
	〃 (ミニ)	85～ 101	102～ 121	101～ 120
なす	7月から11月まで	132～ 146	153～ 169	152～ 168
	12月から翌年6月まで	98～ 100	114～ 115	112～ 114
にんじん	4月から7月まで	210～ 226	231～ 248	125～ 142
	8月から10月まで	222～ 253	244～ 278	164～ 198
	11月から翌年3月まで	241～ 278	265～ 305	179～ 219
ねぎ	4月から6月まで	55～ 60	81～ 87	68～ 74
	7月から9月まで	67～ 68	98～ 99	81～ 83
	10月から翌年3月まで	190～ 202	277～ 294	247～ 264
はくさい	4月から6月まで	91～ 92	114～ 115	113～ 114
	7月から9月まで	123～ 130	155～ 163	154～ 162
	10月から12月まで	250～ 257	312～ 322	312～ 321
	翌年1月から3月まで	188～ 190	235～ 238	235～ 238
ばれいしょ	4月から6月まで	489～ 506	606～ 627	317～ 339
	7月から9月まで	411～ 430	485～ 508	224～ 247
	10月から翌年3月まで	895～ 908	1,058～1,073	558～ 573
ピーマン	6月から10月まで	64～ 66	79～ 82	61～ 64
	11月から翌年5月まで	79～ 81	98～ 101	73～ 77
ほうれんそう	4月から6月まで	52～ 57	63～ 69	46～ 52
	7月から9月まで	36～ 37	44～ 45	27～ 29
	10月から翌年3月まで	115～ 125	139～ 151	102～ 114
レタス	4月から5月まで	89～ 91	110～ 111	109～ 111
	6月から10月まで	199～ 210	245～ 258	243～ 256
	11月から翌年3月まで	148～ 149	182～ 183	173～ 174

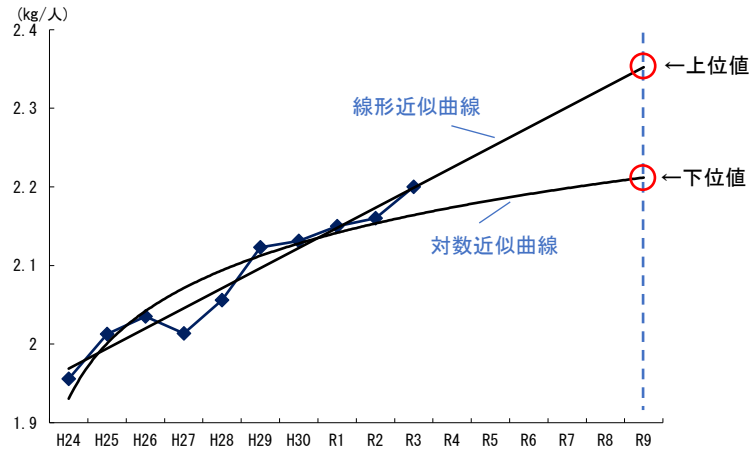
「指定野菜の需要及び供給の見通し」の作成方針

- 指定野菜の種別ごとに、以下の方法によりR9年における①需要量、②供給量、③国内産供給量の見通しを作成。

① 需要量（純食料ベース）

- 一人当たり需要量の上位値・下位値（推計値）にR9年推計人口を乗じ、需要量の上位値・下位値を算出

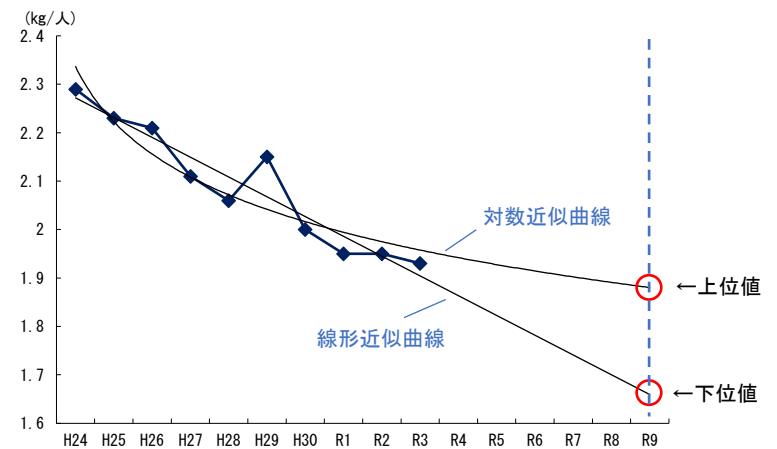
1. 上方トレンド種別の推計



上位値：線形近似曲線を基に算出したR9年推計値

下位値：対数近似曲線を基に算出したR9年推計値

2. 下方トレンド種別の推計

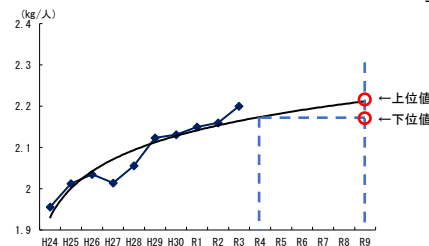


上位値：対数近似曲線を基に算出したR9年推計値

下位値：線形近似曲線を基に算出したR9年推計値

※ 上方トレンドの品目であっても、近年価格低落が顕著化している一部品目については、以下のように推計

上位値：対数近似曲線のR9年推計値
下位値：対数近似曲線のR4年推計値



② 供給量

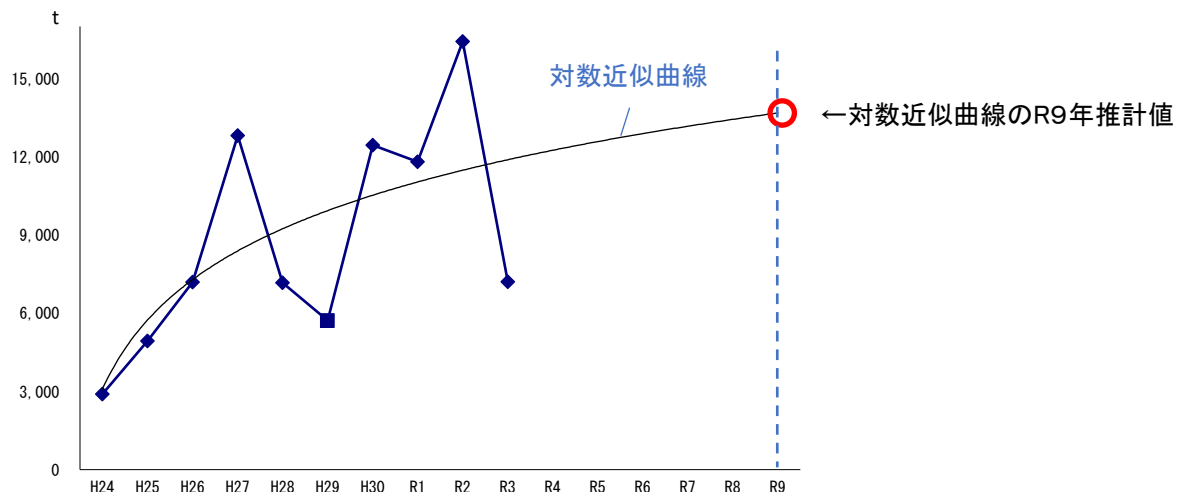
- 需要量(上位値、下位値)を種別等ごとの歩留まり及び(1-減耗率)で除して算出

③ 国内産供給量

- 『供給量(上位値、下位値) - 輸入量 + 輸出量』により算出

➤ 輸入量・輸出量の推計

輸入量・輸出量それぞれについて、H24~R3年の実績値による対数近似曲線を基に、R9年の輸出量・輸入量を推計



※ 「一人当たり需要量」、「輸入量」、「輸出量」の各項目について、異常年(近似曲線上の数値と実績値で、一人当たり需要量は±10%以上、輸入量及び輸出量は±20%以上の乖離がある年)を含む場合、当該年を除外した上でその勢値を算出するほか、異常値が多い場合には直近5か年実績平均値等を採用。